

国際共同研究シリーズ 6

第 2 回アジア太平洋安全保障ワークショップ

アジア太平洋諸国の安全保障上の 課題と国防部門への影響

防衛省防衛研究所

平成 23 年 12 月

目次

まえがき.....	1
片原栄一	
第1章.....	3
インドネシア——安全保障の展望、国防政策、地域協力	
リザール・スクマ	
はじめに.....	3
インドネシアの安全保障上の課題.....	4
国防部門における進展——広範なニーズと控えめな改善.....	10
対外協力.....	14
おわりに.....	16
第2章.....	17
マレーシアの戦略展望及び国防政策の展開	
タン・シュー・ムン	
マレーシアの戦略展望.....	17
東アジア地域の「ホットスポット」.....	18
数字で見る国防.....	20
不況の影響下における軍にとっての悩みの種の増加.....	21
マレーシア軍の新たな任務？.....	22
防衛外交.....	22
政策と実務の分離——抑止と前進防衛.....	23
マレーシアの国防政策の展望.....	24
第3章.....	27
フィリピンが依然抱える国家安全保障面での不安	
ハーマン・クラフト	
挑戦への対応.....	27
フィリピン軍の状況.....	32
安全保障関係.....	34
参考文献.....	35

第4章	37
2010年のシンガポール情勢——戦略的不確実性の渦中における革新と自信 ラム・ペン・ア	
アジアと世界におけるパワーシフト	37
ASEAN 中心型地域構造	38
外交及び協力——隣国	39
海外での SAF——アデン湾	40
海外での SAF——アフガニスタン	41
海外での SAF——高度ネットワーク化部隊としての訓練	41
シンガポールの国防研究開発	43
おわりに	45
第5章	47
長年にわたる危険な生活——タイの安全保障上の課題の現状 パヴィン・チャチャヴァルポンブン	
暴力的政治紛争	48
深南部における反乱	50
カンボジアとの領土紛争	51
ミャンマーからの脅威	52
非伝統的脅威	54
国防政策への影響	55
第6章	59
ミャンマー——選挙後の安全保障上の諸課題 ティン・モン・モン・タン	
2010年総選挙——権力再分配	59
選挙後のミャンマーにおける国軍の役割	62
安全保障上の諸課題	68
結論	74

第7章	75
アジア太平洋地域における米国安全保障の展望	
アンドリュー・エリクソン	
鍵となる将来の傾向及びアプローチ	76
アジア太平洋への適用	84
おわりに	109
第8章	113
アジアの変化する安全保障環境という課題への適応——新たな脅威に 対する中国の対応	
由 冀	
課題1——中国の台頭に対抗する協調的取り組み	114
戦略的課題2——同時多発的な武力紛争の回避	125
戦略的課題3——第二次朝鮮戦争の瀬戸際	130
結論	135
第9章	139
日本の安全保障展望——安全保障上の課題及び新防衛大綱	
庄司 智孝	
はじめに	139
日本が直面している安全保障課題——「チャイナ・チャレンジ」の出現	140
新防衛大綱	144
多国間協調主義、及び東南アジアの安全保障への含意	147
おわりに	149
執筆者紹介	151

まえがき

本報告書は、防衛研究所が主催した「アジア太平洋安全保障ワークショップ」の成果である。このワークショップは 2011 年 1 月 27～28 日に開催され、アジア太平洋諸国から著名な研究者を招へいた。本報告書は「国際共同研究シリーズ」として刊行される。

ワークショップのテーマは「アジア太平洋諸国の安全保障上の課題と国防部門への影響」であり、各参加者は、重要な安全保障課題、その国防政策、戦力構造、装備調達への影響、そして地域安全保障協力への将来展望を含む、担当国の安全保障展望に関して発表した。

アジア太平洋地域は、アジア太平洋経済協力 (APEC)、ASEAN 地域フォーラム (ARF)、東アジア首脳会議 (EAS)、拡大 ASEAN 国防相会合 (ADMM プラス) といった地域枠組みの構築に進展をみせている。しかし欧州と異なり、この地域は包括的な安全保障アーキテクチャを欠いている。またこの地域には伝統的安全保障問題が残存する一方、テロ、自然災害、疫病といった非伝統的安全保障問題にも関心が高まっている。我々は、本報告書が地域が直面する重要な安全保障問題に関する見識を共有し、日本とアジア太平洋諸国間の相互理解と協力を深めることに資するよう望んでいる。

各章の執筆者はリザール・スクマ、タン・シュー・ムン、ハーマン・クラフト、ラム・ペン・ア、パヴィン・チャチャヴァルポンブン、ティン・モン・モン・タン、アンドリュウ・エリクソン、由冀、庄司智孝である（敬称略）。なお、ここに示された見解はすべて執筆者個人のものであり、防衛研究所ないしは執筆者が所属する機関の見解を代表するものではない。

最後に、執筆者の尽力とワークショップ他参加者のご協力が感謝したい。

平成 23 年（2011 年）12 月

防衛研究所地域研究部長
片原栄一

